



碧南ロータリークラブ週報

第2963回例会 令和2年11月18日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



ロータリーは機会の扉を開く

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊

●本日のお弁当

小伴天

●本日のお客様

ボートレーサー 佐藤博亮様

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。今日は岡本会長がお気遣いくださいましてお休みですので、代わりに挨拶させていただきます。

本年度も新型コロナウイルスの対応で、岡本会長、鈴木幹事の大好きなお酒を飲む会での親睦を深めることがなかなかできなくて残念に思っております。

今日、11月18日は1879年11月18日に日本工学会の前身である工学会が設立されたことと、漢字にして組み立てると十一(土)十八(木)で、土木になることということで、日本土木工業協会が「土木の日」と制定しました。また、例年11月18日～24日は「くらしと土木の週間」として、土木技術や事業に関するPR活動が各地で行われております。ということで、少しでも土木の話をさせていただきます。

土木の名前の由来は、中国の前漢時代の古典「淮南子(えなんじ)」の中に出てくる「築土構木(ちくどこうぼく)」という言葉からきているという説があります。現在では建設業は29業種ありまして、その中に土木一式工事があります。あとは建築一式工事と27種類の専門工事で、舗装、造園、水道施設、解体、しゅんせつ、電気などがあります。500万円以上の仕事を取る時は、建設業の許可がそれぞれ必要になります。

土木工事の種類としては、皆さん大体知って見えると思いますけれども、道路・トンネル工事、河川・海岸工事、橋梁工事、ダム工事、空港建設工事、水道関連工事などがあります。一般的には建物以外の建設工事全般が土木工事と言われております。



藤関孝典副会長

今年度の碧南市内の主な工事では、緑町、千福町の下水道工事が行われております。平成元年から始まりまして、今は全体の約80%が整備されており、あと5～6年で全て完成させたいと言っております。それから、臨海の産業道路の交通渋滞の緩和を図るために道路拡幅工事、それに伴う橋梁工事や橋梁補修工事などの関連工事が行われております。ということで、土木の日にごじつけてお話をさせていただきました。

来週の23日は西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフコンペが葵カントリークラブで開催されますので、参加される方は頑張りましょう。

本日の例会よろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第2760地区「END POLIO NOW」ご寄付ご協力のお礼としてマスクが届いております。机の上にマスクが置いてありますので、お持ち帰りいただきたいと思ひます。
- ・ 11月25日(水)は定款第7条第1節(d)(1)による休会となります。
- ・ 次回の例会は12月2日(水)になりますので、お間違ひの無いようにお願ひ致します。
- ・ 2020-2021年度RI第2760地区西三河分区IMのご案内が届いております。
- ・ 12月2日(水)に第6回の理事会を開催致しますので、関係者の方はよろしくお願ひ致します。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65名 (内出席免除者 15名の内出席者 9名) 出席者 50名	
出席対象者 50/59名	出席率 84.75%
欠席者 15名 (病欠者 0名)	

<ニコボックス>

- 伊藤 正幸君 加藤良邦パストガバナー補佐様に、しっかりとご指導を賜りました。感謝申し上げます。
- 鈴木 並生君 先日の3クラブゴルフコンペで、RCの部で優勝しました。ありがとうございました。
- 石川 鋼逸君 本日の卓話の講師、ボートレーサー佐藤博亮様をご紹介させていただきます。
- 杉浦 邦彦君 先週開催されました、3クラブ親睦ゴルフコンペでベスグロが出て、じゃがいもの部で優勝させていただきました。まぐれでもうれしかったです。

ありがとうございます。

卓 話

「ボートレースとボートレーサー」

ボートレーサー 佐藤博亮様



佐藤博亮様

皆様、こんにちは。碧南市立南中学校出身の現役ボートレーサーの佐藤博亮です。本日はよろしくお願い致します。皆様の貴重なお時間をいただいております。お話をさせていただくことが決まってから今までずっと緊張し続けております。

私自身もレスリングの吉田沙保里さん、ボクシングの長谷川穂積さん、サッカーの中澤佑二さん、野球の山本昌さんなどのビッグネームの方々の講話を聞いたことがありまして、とても参考になるものばかりでしたが、本日はスモールな名前と体の講師ということで、何か得るものがあるかわかりませんが、ボートレースとボートレーサーの生活についてお話をさせていただきたいと思っております。

まず、ボートレースの説明をさせていただきます。ボートレースとは、国に認められた公営のギャンブルです。公営競技の仲間には競馬、競輪、オートレースがあります。他にもギャンブルだとパチンコ、スロット、宝くじなどもあります。基本的にはギャンブルというのは国に認められていないものなんですけれども、売上金の一定額を日本財団が地方公共団体に納付して、国のために使っていただくというシステムを確立したことによってギャンブルとして成立していると聞いております。

ルールについて知らない方もいらっしゃると思いますので、簡単に説明をさせていただきます。水の上をモーターボート 6 艇で 1 周 600m のコースを 3 周しまして順位を競います。その結果をお客様にお金を賭けて予想していただいて、それに伴う配当金が支払われるという仕組みになっております。選手には順位に応じた賞金が支払われます。

ボートレース場は全国に 24 場あります。1 番北にあるのが、群馬県の桐生競艇場になります。1 番南にあるのが、長崎県の大村競艇場になります。群馬県より北に競艇場を作ってしまうと、冬に水面が凍ってレースの開催が不可能になります。福井県の三国競艇場や東京方面の競艇場でも大雪や水面が凍って中止になることもあります。ナイターレースが開催されているのは、群馬県の桐生競艇場、愛知県の蒲郡競艇場、大阪府の住之江競艇場、香川県の丸亀競艇場、山口県の下関競艇場、福岡県の若松競艇場、長崎県の大村競艇場の 7 ヶ所だけになります。愛知県には蒲郡競艇場と常滑競艇場があります。

僕がボートレーサーになったきっかけは、元々、愛知トヨタ自動車株式会社で車の整備士として働いていました。2 年程経った時に結婚をしまして、子供が生まれたんですけれども、その子供がまさかの 3 つ子でした。このまま愛知トヨタ自動車で整備士として働いて、3 人の子供を育てていくことになった時にどうしても収入面や時間に無理があって転職を考えました。色んな仕事を探した中で、うちの店に車を買いに来たお客様がいて、僕と同じぐらいの

年代で若そうなのにお金持ちの雰囲気が出ていました。営業マンに紹介してもらったところ、ボートレーサーだということがわかりました。その方が今の僕の師匠に当たる平本真之さんで、そこでボートレーサーを知ったというのが大きなきっかけになっています。

ボートレーサー養成所は簡単に入ることができなくて、僕らの時は倍率が 40~50 倍と言われておりました。入るために試験があるんですけども、1 回目に受けた時は 1 次試験で落ちました。半年に 1 回試験があるので、そこから勉強と体力トレーニングと 3 つ子の世話を寝る間を惜しんでやりまして、2 回目で何とか受かりました。それが 24 歳の時で、やっとスタートラインに立つことができました。そこから 1 年間、技術だけではなく、プロの世界の厳しさを学ぶことができたと思います。そして、プロデビューしたのが 25 歳の時で、プロになられた方々の中では少し遅い方だと思います。

ボートレーサーは級別を決めるための審査が半年に 1 回ありまして、成績に応じて点数でクラス分けがされていて、上から A1、A2、B1、B2 の 4 つがあります。プロデビューしてすぐに常滑競艇場の 4 日間開催のレースに出場し、5 着と 6 着だけで終わった節があったんですけども、B2 ということもありまして、給料が 12 万円ぐらいでした。その時は月に 1 回ぐらいしかレースに出場することができませんでしたので、ボートレーサーになっても稼ぐのが難しいなと感じました。グレードの高いレースに出場できれば、6 着でも賞金が高くなりますので、それを目指してボートレーサーは頑張っています。僕はまだ出場できなかったことがないんですけども、最高グレードの SG のレースがありまして、優勝賞金が約 4000 万円、6 着でも約 650 万円を得ることができます。そういったレースで優勝すると、年末の賞金王決定戦に出場することができます。賞金王決定戦は優勝すると 1 億円、6 着でも 2000 万円を得ることができるので、いつか出場できるように日々努力しています。

ボートレーサーというのは級別審査の点数を稼ぐためにアグレッシブにレースをしたいんですけども、事故に対しての恐怖感が常にあって、怪我もですが、1 番気にしているのがフライングというスタート事故になります。これを僕は今まで 14 回やっております。14 回というのは同期の中で 1 番多いです。フライングをするとフライング休みというものがあります。罰則として、1 本目は 1 ヶ月、2 本目は 2 ヶ月、半年間にトータルで 3 ヶ月仕事が無くなります。僕たちは賞金が収入になりますので、3 ヶ月間レースに出場できないと生活が厳しくなります。スタート訓練ができる場所が日本に 1 ヶ所だけあって、それが碧南市にある油ヶ淵になります。フライングした選手は九州や東京の方でも油ヶ淵にきて訓練を行っています。他には罰金や事故点もあります。

レースで勝つために普段は何をしているかというと、体重管理、トレーニング、練習（常滑競艇場、蒲郡競艇場）、他の選手のレース観戦（イメージ、パターン、癖）、リフレッシュ（旅行、買い物、ご飯、お酒）をしています。レース場ではプロペラ調整、エンジン調整、スタート練習、体重管理をしています。

レースでは、まずスタートで、

- ・風、気圧、気温、温度の変化に応じてレバーを握り込む
- ・大時計と空中線の見え方に集中してレバーを調整する
- ・できる限りスピードを乗せて早いタイミングでスタートをする

ということを意識しています。ターンでは、

- ・スタートの隊形で自分のパターンに当てはめ、イメージを作る
- ・できる限りスピードを落とさずにハンドルを切る
- ・立ち上がって舟をコントロールする
- ・道が開いてからでは遅い、開くだろうで突っ込む

ということを意識しています。

僕の今後の目標なんですけれども、SGのレースに出場することです。僕が今、実力で出場できそうだと思うのは、ボートレースクラシックかボートレースダービーになりますので、そこを目指しています。

本日はどうもありがとうございました。

次回例会案内

令和2年12月9日（水）

卓話「コロナ時代の新聞の役割と、新聞記者の使命」

中日新聞記者 福澤和義氏